

アドバイザー派遣事業実施レポート

- 【研究団体名】 加茂中学校・溝口中学校合同研究会
【会 長】 山本 泰
【研修テーマ】 「全員が力を発揮し、高め合える授業を目指して」
【期日、会場】 第1回 平成29年6月16日（金）伯耆町立溝口中学校にて
第2回 平成29年10月5日（木）米子市立加茂中学校にて
第3回 平成30年1月26日（金）伯耆町立溝口中学校にて
【アドバイザー】 中京大学 国際教養学部教授 杉江 修治 先生

【研修のまとめ】

第1回（溝口中学校会場）

第1回の事後研究会では、杉江先生から「協同学習についての基本」という助言をいただいた。本校に赴任してまだ年数が浅い職員が増えたこともあり基本の確認を全職員でできたことがとてもよかった。日ごろから具体的視点を持って授業づくりや校内研究を進めていることが非常に重要で、本校はそれが数年にわたりできている状態であると評価していただき、今後ますます研究を推進していきたいと思った。



提示していただいた協同学習の基本事項について、まだまだこれから全職員で意識したり改善していくべきことも多いので、それらをまとめて今後の研究につなげていきたい。

第2回（加茂中学校会場）

「学習課題は適切であり、振り返りの時間が確保されていたか」、「生徒が学びの見通しをもち、学習に主体的に参加するしかけがあったか」、「ともに学び、ともに高め合う授業の工夫が見られたか」の3点を共通実践として、授業公開を行った。「昨年度に比べ生徒主体の授業になってきた」と前置きされた上で、さらに授業の質を上げる方法について以下のような指導助言をいただいた。

- ・学習課題を明確に示すことで、生徒は見通しが持て、より主体的に動ける。
- ・個人思考の時間を確保することで、グループ活動の際に「自分の意見が言えた」、「自分の意見を受け入れてもらった」という成功体験につながる。
- ・「生徒はもっとできる」という期待感を持ち、学習課題を今より難易度の高いものにしてもよいのではないか。

以上のように、すべての教科指導において大変参考となる示唆をいただいた。

第3回（溝口中学校会場）

第3回の事後研究会では、杉江先生から「汎用能力の育成」という視点でのお話をいただいた。文部科学省が新学習指導要領で育成を期待する力の一つにそれがある。聞くことを基盤としたコミュニケーション能力や、仲良くする力（協調性）、自ら課題見つけ解決行動に移る力などである。杉江先生からは、協同学習によりそれらは鍛錬、育成することが可能であること、また本校は、長きに渡る協同学習の研究や取り組みによりすでにその路線にあることなどのお話をいただいた。一方で課題は、本校が目指す生徒像や授業のあり方について、全職員での確認も時には必要であるということであった。指導をもとに、生徒が全員で高め合える授業作りを目指して、全職員で取り組んでいきたい。